

NO.107号 発行・編集：（一社）富山県社会福祉士会  
〒939-0341 富山県射水市三ヶ579 富山福祉短期大学 1号館 1F内  
Tel/Fax 0766-55-5572 toyama.csw@gmail.com

2022年 7月発行

# 鮎おこし



## 顔の見える間柄

会長 清水 剛志

研修会や会議においても対面で行うことが増えてきました。3年ぶりに行くと初めて体験するということが起こります。2年の間、行われなかったことを企画して実行することは難しいこともあります。そもそも今まで無理に実施し、前例に従って実施することしか考えられてこなかったことを踏襲し続けた行事等を止めてその実施の必要性を再考するようになりました。人が出会い集まることの難しさを体験し、人との接触をできるだけ軽減するようにしてきました。人間関係の構築の方法にも影響を与えてきているように感じます。

仕事の中で、小学校や中学校の様子を拝見する機会があります。この2年の間に、コロナ禍の影響もあり、GIGAスクール構想を加速させる動きがありました。学校という所は「平等」が大切なので、タブレット端末の普及はすさまじいスピードで実施されました。小中学生の一人一台のタブレット端末と個人のアカウントの保有が達成されました。現在の子どもたちはタブレットを机の上に置き学習に励んでいます。大人の社会でもテレワークを実施することによって在宅勤務が容易となり、出勤する必要性を考えるようになりました。子どもたちの学校や大人の社会でも実際に「人と出会う」という機会を減少することも受け入れられる社会になってきたと感じるようになりました。

しかし、ネットを活用したコミュニケーションは便利でメリットも多いと思うのですが、3年ぶりに実現できるよ

うになった対面の直接的な出会いや関係づくりは暖かさを感じます。子どもたちとはタブレットを活用しネットよってのつながりから新しい関係づくりが始まります。顔が見える間柄の大事さを感じる日々です。

## 第 14 回 定時総会を終えて

副会長 中山 光明

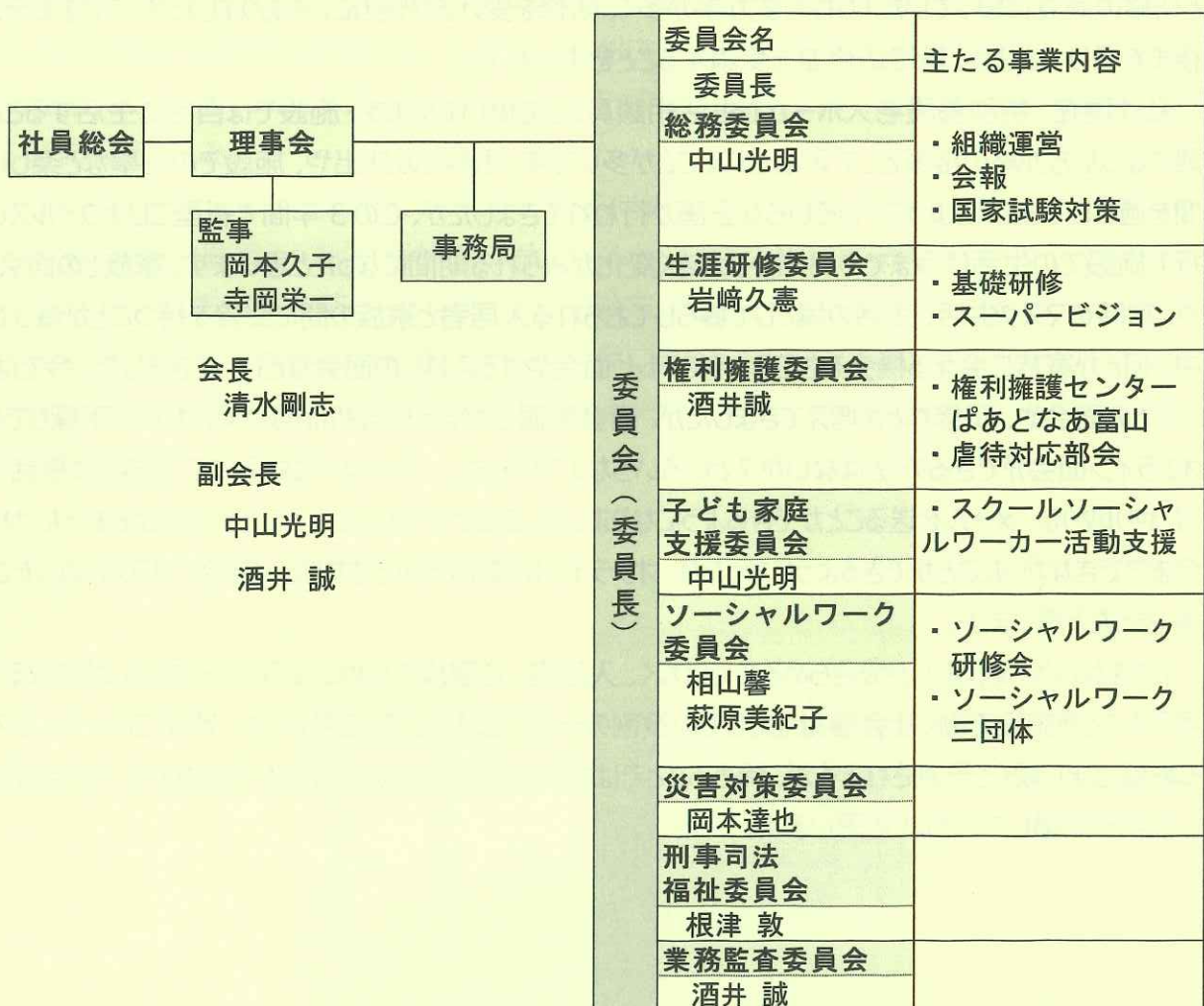
富山県社会福祉士会 第 14 回定時総会が、令和 4 年 5 月 28 日サンシップとやまにて開催されました。清水会長よりコロナ禍も 3 年目となり、いかにコロナ感染と付き合い、クライアントや私たちの生活を構築するかが、今年度の課題とのお話がありました。審議事項には、第 1 号議案と第 2 号議案が提出され、1 号議案では、各委員会より 2021 年度事業報告が有りました。総務委員会より、令和 4 年 3 月 31 日現在の会員総数は 494 名で昨年度より大幅な会員増加が見られたと報告があり、より一層、今年度も、魅力のある研修や信頼される会でありたいと認識しました。総会に先だち、2022 年 3 月 24 日には、臨時社員総会を開催し、今年度の事業計画、予算案を承認して頂きました。臨時総会において各委員会の目的、予算が出され、今年度の活動内容が明確になったと考えています。第 2 号議案では 2021 年度決算報告と監査報告があり監査報告では、監事より財産や事業の執行は正しく表示していると、認めて頂きました。第 14 回定時総会の 2 議案とも無事承認され、新しい年度がスタートできたのも会員皆様の協力があったの事と会長以下役員一同感謝申し上げます。

昨今、巷では、コロナワクチン 4 回目の接種が行われ、皆さんの行動範囲も広がりつつある様に感じます。当会でも感染防止に努め、会員皆様の自己研鑽のお手伝いを始め、研修企画、会員交流機会の確保と委員会活動を通して進めていきたいと思っております。是非とも活動に参加したい、こんな企画をして欲しい等、御意見等ありましたら、気軽に事務局まで、声を掛けていただけますようお願い致します。



2022年7月現在の組織図を掲載しました。研修企画、会員交流機会の確保と委員会活動を通して進めていきたいと中山副会長からの報告にもありましたが、組織図によりそれぞれの事業内容がわかりやすくなりました。活動への参加希望、企画の提案など、会員の方々のご意見をお待ちしております。

### 一般社団法人 富山県社会福祉士会 運営組織図



# がんばる社会福祉士

介護保険分野で働く会員 2 名をご紹介します。お二人とも着実に基礎研修を受講され、現在、基礎Ⅲを受講中との事です。

## 特別養護老人ホームで働く社会福祉士としての役割

あさひ苑 アネックス 太田 千晶

社会福祉士の資格を取得し、社会福祉士としての自己研鑽として基礎研修を受け始めました。仕事と研修の両立は思っていたよりも大変な事が多く、研修を受けるか悩むこともありましたが、ここまで来たら最後まで受けてみようと思われ基礎研修Ⅲを受講することを決めました。

私は現在、特別養護老人ホームで生活相談員として働いています。施設では自宅で生活することが困難になった方が終の棲家として入居されることが多いです。家族との外出や、施設での行事など楽しい時間を過ごしてもらえるように、いろいろな企画が行われてきましたが、この3年間で新型コロナウイルスの流行で施設での生活は今までの日常から大きく変化がみられる期間になったと思います。家族との面会制限や、常時のマスク生活、生活の場として暮らしておられる入居者と家族の間に交流を持つことが減っていく中、何とか家族に会える機会をもてるようにテレビ面会やガラス越しの面会など行ってきました。今では、リモートでの面会や、研修などが増えてきましたが、面会制限が始まった当初は何が何だか…。手探りで何とかオンライン面会ができる方法はないか？といろいろなアプリを試し、今では半数近くのご家族とは電話のみだったやり取りが、メールを送ることができるようになりました。コロナウイルスによるマイナスな面もあったけれど、今までできなかったことができるようになったり、オンライン研修に参加できたりと、自分にプラスになったことも多くあったと思います。

「できないから無理！」とあきらめるのではなく、入居者、ご家族のために「どうしたらできるようになるか」を考えることが施設で働く社会福祉士としての役割の一つだと思います。これからも、新型コロナウイルスによる影響はまだ続くと予測されますが、諦めることなく、できるようになる方法を考えながら、社会福祉士として自己研鑽していきたいと思っています。

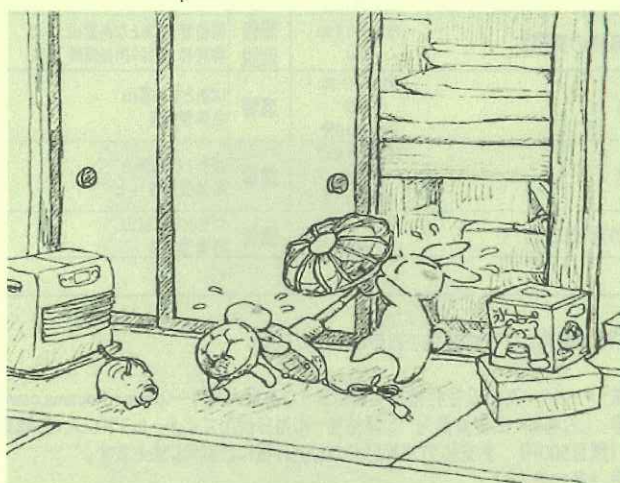


## 基礎研修は気付きの宝庫

居宅介護支援事業所 一期一会 元藤 牧子

私は現在、基礎研修を受けています。研修で「バイステックの7原則」について学ぶ機会がありました。私は在宅のケアマネジャーをしています。その学びをケアマネジメントの面接場面にあてはめて考えてみました。自分や相手の感情に意識を向けることで、複雑に絡み合った状況が「すっきり整理される」ように感じることがありました。若い頃に学習したはずの「バイステックの7原則」が今になりようやく自分の中で身近に感じられた瞬間でした。

それから、基礎研修では社会福祉の基礎についてあらためて考えることが多く、なかでも「人権」については、まだまだ自分の言葉でうまく説明ができません。しかし、今は「〇〇とは」と考える時間そのものが私にとって大切な時間です。急いで答えを出さず、いろいろな方の意見を聞きながら、ゆっくりと自分の中で考えていきたいと思います。これから先の研修で、どのような気づきがあるのかとても楽しみです。そして実際のケースでその気づきを実践し、また学びの場で考えを深めるうちに、少しずつ自分の言葉で説明できるようになりたいと思います。



# 権利擁護委員会からのお知らせ

## 2022年度 成年後見人材育成研修(委託研修) 聴講について

成年後見人材育成(養成)研修を受講されてから期間の空いた方や受任されている方の自己学習のために聴講生を募集します。対象は人材育成(養成)研修を過去に修了された方です。ご希望の方は、カリキュラムを参考にしてお申し込みください。全日程オンラインで実施します。

使用テキスト ①『権利擁護と成年後見実践』(メインテキスト) ②『後見六法』 ③『専門職後見人と身上監護』  
④『成年後見実務マニュアル』 ⑤参考資料集等

	課目	時間(分)	形態	講師	使用テキスト					聴講	
					①	②	③	④	⑤		
1日目 (390分) 9月18日(日)	0 研修ガイダンス	9:00~9:30 (30)	講義	ばあとなあ富山 名簿登録者						○	
	1 成年後見制度の解説	9:30~11:40 (120) ※休憩10分	講義	弁護士	○	○	○			○	●
	2 成年後見活動における 判断能力のとらえ方	12:40~13:40 (60)	講義	医師	○	○					●
	3 社会福祉士と成年後見 ~権利擁護の視点から	13:50~17:00 (180) ※休憩10分	講義	社会福祉士	○	○	○			○	●
2日目 (360分) 10月16日(日)	4 財産法の基礎	9:20~11:30 (120) ※休憩10分	講義	弁護士	○	○					●
	5 財産管理のための知識	12:30~14:00 (90)	講義	司法書士	○	○		○	○		●
	6 後見事務の実際1	14:10~15:10 (60)	報告 解説	報告者:ばあとなあ富山 解説者:課目5担当講師	○	○		○			●
	7 家庭裁判所の 実務の理解	15:20~16:50 (90)	講義	家庭裁判所	○	○				○	●
3日目 (360分) 11月13日(日)	8 家族法の基礎	9:20~11:30 (120) ※休憩10分	講義	弁護士	○	○					●
	9 身上監護のための知識	12:30~15:10 (150) ※休憩10分	講義	ばあとなあ富山 名簿登録者	○	○	○	○	○		●
	10 後見事務の実際2	15:20~16:50 (90)	報告 解説	報告者:ばあとなあ富山 解説者:課目9担当講師	○	○	○	○	○		●
4日目 (300分) 12月11日(日)	11 演習1	9:20~11:30 (120) ※休憩10分	演習	ばあとなあ富山 名簿登録者	○	○		○			
	12 演習2	12:30~14:40 (120) ※休憩10分	演習	ばあとなあ富山 名簿登録者	○	○		○			
	13 今後の活動について	14:50~15:50 (60)	講義	ばあとなあ富山 名簿登録者	○	○				○	

聴講をご希望の方は下記の方法でお申し込みください。

### 申込方法

申込方法:メール 富山県社会福祉士会ばあとなあ富山宛 <partner.toyama.csw@gmail.com>  
記載内容:①お名前 ②会員番号 ③連絡先 ④当日使用するメールアドレス ⑤聴講を希望する課目番号  
受講料:1課目500円 お支払方法等はお申し込み後にご案内いたします。  
申込期限:8月10日(水)  
※ 聴講できる課目は●がある課目です。聴講生は講師への質問はできませんので予めご了承ください。  
※ 研修では最新のテキストを使用します。必要な方は各自ご購入ください。

## 事務局からのお知らせ

事務局へのお問い合わせは、E-mail またはお電話でお願いいたします。

(水・土日・祝祭日を除いた 10:00~15:00)

**E-mail : toyama.csw@gmail.com**

**Tel/Fax : 0766-55-5572**

**会員数 501名 (令和4年6月30日現在) 研修を受け自己研鑽に努めましょう。**

### 編集後記

**鯽おこし 107 号をお届けいたします。**

先日、私は第30回全国大会の東京大会へ参加してきました。

久しぶりの集合大会でもあり、オンラインとのハイブリッド式の開催でした。参加者は1502人との事。感染予防のため、東京滞在中はおとなしくしていましたが、たくさんの元気をもらってきました。

記念講演では、法政大学現代福祉学部の高良麻子教授より「すべての人びとが Well-being を実現できる社会への変革に向けたソーシャルワーク」という演題で講演されました。

[とても厳しい近い未来が来る。すべての人が Well-being を実現できる社会に向けて、ひとりひとりのソーシャルワーカーが、少しずつでも着実に確実に実行する事。皆が一緒に進みソーシャルワークを紡いでいきましょう。] 高良先生の言葉が心に響きました。

107号の印刷・発送はワークハウス連帯さん、イラストは chiaki さんにお願いました。ありがとうございました。(永野)

